

厚生労働科学研究費補助金

(政策科学総合研究事業(臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業))

分担研究報告書

Precision medicine の確立に資する統合医療データベースの利活用に関する研究
研究分担者 吉本 幸司 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学 教授

鹿児島県の脳卒中死亡率は全国と比較して高く、僻地と離島を対象としたドクターヘリの適切な運用に、遠隔医療の活用が期待されている。本研究では鹿児島県内の脳卒中の予後予測データを収集し、そのデータを遠隔医療システムを用いて複数の医療機関で共有することにより、脳卒中医療の質向上に寄与できるかを検討することを目的としている。

A. 研究目的

脳卒中の予後予測データを収集し、それを遠隔医療システムを用いて、複数の医療機関で共有することにより、脳卒中医療の質向上に寄与できるかを検討する。

だけ早めに収集する必要がある。

B. 研究方法

1. 全国的に見て医療資源が少ない地域である離島を抱える鹿児島県内での遠隔医療システムを構築する。本システムの拠点は、九州大学遠隔医療開発センターとする。
2. 鹿児島県内での脳卒中患者の治療内容や治療後の患者の QOL を収集し、解析を行う。

E. 結論

次年度にデータを収集する予定である。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

C. 研究結果

現在上記1. 2ともにシステムを構築している段階であり、今後結果を収集する予定である。

G. 知的財産権の出願・登録状況
(予定も含む)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他

D. 考察

脳卒中治療後の患者の QOL を収集をできる